

課題とは－「読む蔵」の活用状況より

先月はお忙しい中、保護者面談会にご足労いただきましてまことにありがとうございました。今回も全員の方と面談ができました。このことは保護者の方々の塾への信頼であると同時に、強い期待のあらわれであろうかと思えます。今後もより一層の指導を心がけてまいりますので、よろしく願いいたします。

さて何人かの方とは面談の席でも話題に上がりましたが、今回は「読む蔵」について取り上げてみたいと思います。7月に導入を決定し受講希望をとらせていただいたところ、ほぼ全員の塾生が受講を希望されました。一人でも多くの塾生に読みの力をつけてもらいたいという、こちらの意図を汲み取っていただきましたことに感謝いたします。8月、9月とやってもらった後、10月から1ヶ月8回という契約で足並みそろえてスタートしました。2ヶ月がすぎ、効果のほどはまだわかりませんが、履修状況から一言申し上げ、態勢を考え直したいと思います。

「読む蔵」導入にあたって懸念していたことは、こちらで履修状況をチェックすることは可能でも、完全な家庭学習のため強制力が弱いということでした。ワークやプリントの宿題ならば授業時間外にでも塾に呼び出してさせることができますが、「読む蔵」はそれができません。その結果はどうでしょう。11月30日正午現在、今月きちんと8回履修できている塾生は情けないことに全体の25%にしか満たないという状況です。提出しなければならない課題は全員やってきますが、提出しなくてもいい課題は4分の1の塾生しかやれない・・・残念ながらこれが当塾塾生の現状であり弱さです。35%が学年順位一桁、70%が20位以内に入っている(2学期中間)塾生とは思えません。自分がやるべきことはわかっている人間ではないのでしょうか。今月は期末テストがあったためなかなかやれなかったと言い訳する中学生もいるでしょうが、私は何度か「テスト期間に入る前にやるように」と指示してきました。その計画性のなさも問題です。締め切り日の今夜、一気にやっつけようともがいている塾生が目に見えます。

「きちんとやれない人は契約をきるから」と、塾生には再三にわたって言ってきました。2ヶ月連続で8回に満たなかったり、一ヶ月4回にも満たなかった塾生は、残念ながら「読む蔵」契約をきらせていただきます。今後も同様です。

課題は何のためのものか考えて取り組まなくてはなりません。やらないと叱られるから仕方なくやる、という受け身の気持ちでは、どんなにすばらしいものを与えられても思ったほどの効果は得られません。どうせなら、自分に力をつけることを楽しみながら実践しましょうよ。